

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第39号

2013年8月16日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
〒千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

10万筆署名の力で「解雇撤回」判決を！

9・15総決起集会—代々木公園ケヤキ並木

9・25判決を迎え撃とう

動労千葉委員長 田中康宏



難波裁判長は、弁論を再開し、事実調べを行え！

労働者の闘い方いかんによって大きな可能性が開ける時代が始まっていることは間違いありません。動労千葉も本気になってこの時代に挑みかかっていきたいと思っています。

どう、あらゆるものが規制緩和されてきたという事実は変わらぬ。日本で言ったらJR北海道の現実です。今年に入って列車が火を吹く事件が7・8件起きています。これは異常事態です。それとアメリカ・テロロイ

り労働者に対する攻撃になつて襲いかかろうとしています。日本では安倍政権が参議院選挙後に国家戦略特区構想を打ちだしました。そこでは、解雇規制を緩和する、労基法の適用を緩和する、アメリカのように公立学校の民営化をやるなど言っています。「特区」とはどこか。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

このことと国鉄闘争との関係です。やはり、日本では国鉄分割・民営化が、最大の「ショックドクトリン」だった。これと闘い得ていることの持つ意味が本当に大きいと思います。

動労千葉鉄建公団訴訟8・22弁論再開要請行動
8月22日(木) 午後3時(東京高裁前に2時20分集合)
東京高裁は解雇撤回・JR復帰判決を出せ！
9・15総決起集会
9月15日(日) 13時から 代々木公園ケヤキ並木
(呼びかけ) 動労千葉・国鉄闘争全国運動

共に闘う国労の会

勝田一郡山の職場闘争と連帯して 歴史を偽造する本部執行部を弾劾



「共に闘う国労の会」は7月25、26日の国労第82回全国大会に対して静岡・神奈川の労組交流センターとともに「健全かつ正常な労使関係」に走る国労本部を弾劾して、大会参加者に闘う方針の確立を訴えました。

今全国大会闘争は、被曝車両K544の検査・修繕に対して、内部被曝労働拒否という勝田車両センターと郡山工場の仲間と固く連帯して闘いぬかれました。同時に、組合員資格確認訴訟で醜態な嘘で労働者の生きざまの歴史を偽造する宮里弁護士や右上執行部を弾劾しました。

大会前日にJR伊東駅前署名

大会はここ数年間、伊東市の山の上のJR資本のホテルで構成員を前泊させ、東京の現場組合員さえ傍聴に来るのは「遠い」環境で、静岡県警に守られて開催しています。傍聴も事前申請がないとできない異常な組合大会です。

大会参加者が来る24日午後、JR伊東駅前での街宣行動で大会向けのビラ配布と解雇撤回・JR復帰の10万署名行動を展開。JR東日本の妨害をはねのけ、大会参加者や伊東市民にビラが渡され、多くの人が足を止めて署名を寄せ86筆が集まりました。

夕方には、伊東市内で国鉄闘争勝利総決起集会を開催しました。共同代表の郡山工場の橋本書記長がK544攻防の真つ只中で現場攻防の先頭に立っているため、同じく共同代表のJR貨物の青年が基調を提起。夏季手当の大幅削減を強行したJR貨物が「今後、妥結しないと一時金は支払わない」と言い放ったことや、本部・石上が「JR体制は破産した」と言わざるを得ない非和解情勢にあることを提起、職場の怒りを具体的な行動方針に転じようと呼びました。

また、山本太郎さん当選は社

「環境で、静岡県警に守られて開催しています。傍聴も事前申請がないとできない異常な組合大会です。」

大会参加者が来る24日午後、JR伊東駅前での街宣行動で大会向けのビラ配布と解雇撤回・JR復帰の10万署名行動を展開。JR東日本の妨害をはねのけ、大会参加者や伊東市民にビラが渡され、多くの人が足を止めて署名を寄せ86筆が集まりました。

夕方には、伊東市内で国鉄闘争勝利総決起集会を開催しました。共同代表の郡山工場の橋本書記長がK544攻防の真つ只中で現場攻防の先頭に立っているため、同じく共同代表のJR貨物の青年が基調を提起。夏季手当の大幅削減を強行したJR貨物が「今後、妥結しないと一時金は支払わない」と言い放ったことや、本部・石上が「JR体制は破産した」と言わざるを得ない非和解情勢にあることを提起、職場の怒りを具体的な行動方針に転じようと呼びました。

また、山本太郎さん当選は社

「共に闘う国労の会」のデモを報じる伊豆新聞 (7月26日)

「解雇撤回」訴える

国労の会が市内行進

国労有志を組織して、25日、伊東市松川町の「共に闘う国労の会」伊東分センターで



シュプレヒコールを上げ、市内を行進する「共に闘う国労の会」(松川町)

ルを上げて市内を歩い防の局面「エ」やハ先が見えてきたとこい意

市内で国鉄労働組合(国労)の82回定期全国大会が開催されているのに合わせて、全国から約30人が参加した。前日にはJR伊東駅前ビラ配りもした。

9月25日の国労千葉建公団の判決までに、国鉄分割・民営化による1047人の解雇撤回・JR復帰のため、10万人署名運動を準備してこいことを確認した。

会員からは「最大の攻

解雇撤回・JR復帰署名

3万2362筆

(2013年8月16日現在)

できて良かった」と言ってくれました。神奈川の自治体労働者は、自分の闘いと国鉄の闘いが結びつければ勝てるという実感を訴えました。

「解雇撤回」訴え 伊東市内をデモ

共に闘う会からは「現場で闘い続け、国労を闘う組合に変える」と決意表明しました。

25日朝、会場のホテル前での宣伝行動にたちました。本部は、静岡県警やJRホテル資本と結託し、現場組合員をホテル敷地内に立ち入らせない措置をとっています。

私たちは「警察に守られた大会をいつまで続けるのか! 国労本部は恥を知れ!」「解雇された者は組合員ではないと言わが、私は今でも国労組合員だ」「外注化も契約社員雇止めも認め労働組合なのか」など現場組合員の怒りで大会会場を

席巻しました。

大会開催の9時30分、現場と無縁の大会を弾劾して国鉄闘争を社会的に訴えるために伊東市内デモが闘いぬかれました。

階級的労働運動の火を

山陰から署名運動の報告

山陰は鳥取・島根両県とも過疎で、国鉄闘争全国運動は少数ですが、「山椒は小粒でもピリリと辛い」という存在感を示すべく奮闘しています。

一昨年、JRの後藤工場で、クレーンの操作を誤って死亡事故を起こすということがありました。それに対して「共に闘う国労の会」の2人の仲間が、事故の原因は「偽装請負」にあり、故の原因は「偽装請負」にあり、すべて当局の責任だということ監督署に告発し、労働基準監督署の方からJR西日本当局と事故当時の後藤工場の所長が書

解雇撤回と民営化反対・非正規職撤廃とともに、原発再稼働阻止、浜岡原発廃炉を訴えるデモに、青年が飛び入りでデモに参加、地元新聞も取材に駆けつ

きました。大会会場付近では、「組合員資格剥奪を許さないぞ」とひととき大きな声を響かせ、主流派に飛躍する第82回国労全国大会闘争を貫徹しました。

今年、連合メーデーにも登場して署名活動を展開しました。主催者は「入り口付近で署名を呼びかけている連中がいるけれども、メーデーの資料はこちらでちゃんと準備しているからあの人たちの資料は受け取らないように」という放送を行っていました。しかし、個々の労働者はわれわれの訴えに応じて署名をしてくれました。600近くの署名が集まっています。10名弱の全国運動のメンバーですが、それでもそれなりの署名が集まりますし、これからの集めていこうと思っています。

山陰は人口が少なく、高齢者が多いところですので、街頭宣伝ができるのは、鳥取市・米子市・松江市の3都市ほどなんです。それが、それでもかなりの数の署名を集めているということが評価してもらえないのではないかと思っています。

課題は、労働組合の足場が少ないところ、高齢者の集まりになっていていこうです。何としても若いメンバーを入れたいと思います。そのため、山陰の後藤工場、米子駅へのビラ入れを定例化しています。

いまの危機的な日本の状況を逆に関いのチャンスと捉えて、山陰の地からも階級的労働運動の火を燃え上がらせていきたいと思っています。(7月27日の国労千葉を支援する会総会での発言を編集しました)



総会を支援する会総会

総会を支援する会総会